

さくら会病院における新型コロナ感染者発生状況について

さくら会病院はこの数年間、新型コロナ感染症の蔓延する中、第6波までの流行はなんとか乗り切ってまいりましたが、ウイルスの感染力が従来より強いといわれる第7波の襲来において、当院の入院患者様の陽性者数、病院職員の陽性者数が徐々に増加し、8月12日には急性期病棟で患者様3名、病棟職員3名の計6名、8月15日には地域包括ケア病棟において患者様11名、病院職員5名の計16名と新型コロナ感染陽性者数が保健所へクラスター発生報告する人数に達したため、感染収束が確認できるまでやむをえず診療活動に制約をかける状況となりました。

新型コロナ感染は発症2日前から感染性があると言われていますが、第7波の新型コロナ感染は比較的若年で無症状者、軽症者が多いため、社会生活を営んでいる人が感染した場合、陽性が判明した段階ですでにかなりの範囲で濃厚接触を生じており、ほどなく発症し陽性が判明するケースがかなりあるようです。

当院においてもそのような形でクラスターとなっていることを想定し、患者様と病院職員との間での濃厚接触を阻止し、感染の蔓延が収束するまでの間、救急・入院の受け入れについては隔離が可能な範囲内で行うこととしました。

感染対策として陽性者、濃厚接触者、陰性者でそれぞれ病室を隔離し、また陽性者および濃厚接触者の病室に出入りする病院職員が感染対策の装備を装着する緩衝域をそれぞれの病室前に設けなければならないため、人的にも場所的にもこれまでと同じ人数の患者様の受け入れはできません。

できる限り早期に従来の診療活動を再開させたい所存ではありますが、入院患者様の安全を最優先に対応を行っておりますのでご理解の程何卒よろしくお願い申し上げます。

なおクラスター解除までの感染者状況につきましては、定期的にご報告いたしますので関係者の方々のご留意いただければ幸いです。

令和4年8月16日

社会医療法人さくら会さくら会病院
病院長 福間 淳